

# 令和元年度の試験課題と研究会予測課題との検証結果

【2級建築士 令和元年度 設計課題: 夫婦で営む建築設計事務所を併設した住宅 (木造2階建て)】

要求図書: 1階平面図兼配置図、2階平面図、2階床伏図兼1階小屋伏図、立面図、断面図、部分詳細図(断面)、面積表、計画の要点等

## 【研究会の予測課題が試験課題に対して80%以上の中したかの検証結果】

・結論: 予測課題は、作図部分は表1の通り、ほぼ80%以上の中したが、記述部分は表2の通り1/3の的中に止まった。⇒従って、作図と記述の全体としては、80%以上の中とは言えない状況であった。

・敷地と延べ面積は、規模が272㎡に対して289㎡、方位条件の道路が南に対して北、延べ面積指定が170~220㎡に対して160~200㎡と若干異なるが、ほぼ近い予測であった。

・事務所の要求室は、「資料室」と「休憩室」が予測できなかったが、それ以外の主要な要求室は的中した。なお、資料室は資料棚の指定であるが、予測課題では設計室に資料棚を計画している。

・住宅の要求室は、「家事室」と1階「納戸」、2階「居間」を予測できなかったが、それ以外の主要な要求室は的中した。なお、2階の居間は、解説で2階居間の場合、1階居間を採用すると示しており、納戸は2階と同じなので、事実上、家事室のみ予測できなかった。

・屋外施設は、「既存樹木」を予測できなかったが、それ以外は的中した。なお、駐車場と駐輪場は、どちらも台数まで同じ予測であった。

・計画の要点等は、表2の通り、①家事、③既存樹木が予測できなかった。どちらも、図面での課題内容でも予測できなかった部分であり、試験元センターの「予測しがたい内容を試験で書かせる」傾向での出題であったと伺える。

・全体として、作図部分は、8割以上の中したと言えるが、記述部分は1/3の的中なので、全体で80%以上の的中とは言えない。また、HP掲載の図面は、過去問H24からの出題として「既存樹木」がなく、この点の事前解説は全くできなかった。

表1 2級建築士(製図)の本試験課題と各社事前課題との要求室等の比較

課題名	敷地				延べ面積 以上、以下 (㎡)	1階														屋外施設															
	規模 (㎡)	横 (m)	縦 (m)	方位条件				事務所							住宅							屋外 テラス	屋外 スロブ	既存 樹木	駐車 (台)	駐輪 (台)									
				東		西	南	北	出入口	設計室	応接室	資料室	休憩室	給湯室	便所	玄関	LDK	子供室	家事室	浴室	洗面所						便所	納戸	夫婦室	子供室	居間	家事室	洗面室	浴室	便所
試験課題 令和元年	272.0	17.0	16.0	隣地	隣地	道	隣地	170㎡以上、220㎡以下	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	住宅1 事務1	住宅2 事務2
研究会 予測①	288.8	17.5	16.5	隣地	隣地	隣地	道	160㎡以上、200㎡以下	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	住宅1 事務1	住宅2 事務2

表2 本試験課題と予測課題との計画の要点等の比較

試験課題	① 夫婦が働きながら家事をしやすいようにするに当たって、工夫した点	研究会の予測課題 ⇒ 予測できなかった
	② 事務所部分における各室等の室内計画及び動線計画について工夫した点	研究会の予測課題 ⇒ 事務所部分の計画について、工夫した点 (解答内に動線計画も記載あり)
	③ 外構計画に当たって、既存樹木との関係について、工夫した点	研究会の予測課題 ⇒ 予測できなかった